

児童・生徒の健全育成に向けた教育委員会の取組

1 杉並区教育ビジョン 2012

【今後 10 年を見据えた杉並の目指す教育】

共に学び共に支え共に創る杉並の教育

【目指す人間像】

- ・夢に向かい、志をもって、自らの道を拓く人
- ・「かかわい」と「つながり」を大切にし、地域・社会・自然と共に生きる人

2 杉並区教育ビジョン 2012 推進計画

目標Ⅰ 「学びをつなげ、切れ目ない教育をすすめます」～防災教育の充実～

➤ 震災時対応マニュアル

・「杉並区立学校（園）における震災時対応及び防災対策の指針（平成 24 年 3 月）」に基づき、地震発生時の対応をミニブックにまとめ、児童・生徒、保護者に配布し、学校での安全指導や保護者への啓発に活用する。

➤ 中学生レスキュー隊

・中学校ごとにレスキュー隊を編成し、災害時に役立つ知識・技能を身に付ける活動、地域防災訓練や震災所救援所訓練等、地域の防災行事に参加することを通して、中学生の防災意識、社会貢献意識及び自己有用感を高める。

➤ 体験型防災教育

・「防災館」を活用して、地震体験・煙体験・消火訓練等、体験的な活動を通して、地震等の災害時に安全な行動ができるような態度を身に付ける。原則、小学校 4 年生を対象として、平成 24 年度から実施。

目標Ⅲ 「個に応じた学び・成長をきめ細かく支えます」～いじめ・不登校対策～

➤ 教育 SAT（スクール・アシスト・チーム）※平成 19 年 4 月より実施

・「いじめ」、「不登校」、「学級の荒れ」等、学校現場の生活指導上の緊急課題、事故や事件等の安全確保上の緊急対応、中・長期的な課題対応を支援するための専門チーム。

※「すぎなみいじめ電話レスキュー」「中学生生徒会サミット」「ネットでトラブル解決システム」

➤ 適応指導教室

・通常の学校生活に適応できず、不登校またはその傾向にある区在住の小・中学生に対して、集団生活を通して社会性をはぐくみ、学校生活への復帰ができるようにする。

※小学校：荻窪教室 中学校：天沼教室、和田教室

➤ スクールソーシャルワーカー

・学校において、いじめ、不登校など学校現場の緊急課題や児童・生徒を取り巻く複雑な問題に対し、支援を要する子どもと家庭・学校・関係機関等との調整・仲介役としての役割を担い、子どもを取り巻く様々な環境に働きかけ、生活改善を支援する。

平成 26 年度 第 1 回 青少年問題協議会資料

平成 26 年 7 月 24 日
杉並区立済美教育センター